

MACF 礼拝説教要旨

2023 年 10 月 15 日

「理不尽のただ中で」

ルカによる福音書 23 章

13 ピラトは、祭司長たちと議員たちと民衆とを呼び集めて、

14 言った。「あなたたちは、この男を民衆を惑わす者としてわたしのところに連れて来た。わたしはあなたたちの前で取り調べたが、訴えているような犯罪はこの男には何も見つからなかった。

15 ヘロデとても同じであった。それで、我々のもとに送り返してきたのだが、この男は死刑に当たるようなことは何もしていない。

16 だから、鞭で懲らしめて釈放しよう。」

17+ 18 しかし、人々は一斉に、「その男を殺せ。バラバを釈放しろ」と叫んだ。

19 このバラバは、都に起こった暴動と殺人のかどで投獄されていたのである。

20 ピラトはイエスを釈放しようと思って、改めて呼びかけた。

21 しかし人々は、「十字架につけろ、十字架につけろ」と叫び続けた。

22 ピラトは三度目に言った。「いったい、どんな悪事を働いたと言うのか。この男には死刑に当たる犯罪は何も見つからなかった。だから、鞭で懲らしめて釈放しよう。」

23 ところが人々は、イエスを十字架につけるようにあくまでも大声で要求し続けた。

その声はますます強くなった。

24 そこで、ピラトは彼らの要求をいれる決定を下した。

25 そして、暴動と殺人のかどで投獄されていたバラバを要求どおりに釈放し、イエスの方は彼らに引き渡して、好きなようにさせた。

* * * * *

今朝のテキストの前の文章もイエス様の裁判の様子が描かれています。

ユダヤの裁判、そしてローマの裁判です。

なぜ、ローマの裁判なのかといえば、当時ユダヤの裁判では「死刑判決」を

出すことができなかったのです。彼らはイエス様をピラトのところに引っ張っていったのです。

それにしても最初から判決は有罪と決められており、最終的には死刑判決を確定されているような裁判でした。

ピラトは「この男には死刑に当たる犯罪はなにも見つからなかった。だから鞭で懲らしめて釈放しよう」と何度も人々に語っていますが、あっという間に民衆の声が

勝ってしまいました。

それにしても、こんなに何度も裁判が行われ、証人もいないのに、無罪の判決がくだされてもよいはずなのに、ひとつひとつ、それが無視され、あげくの上にピラトは裁判の判決を正義の上ではなく、民衆の声によって訴えられている「死刑」がそのまま判決として決定されてしまうなど、なんと理不尽なことでしょう。

残念ながら、私たちの人生の歩みの中で、理不尽から理不尽に振り回されることがあります。

ここでも、そこでも、あそこでも、嫌な思いをし、神様は無視しておられるような気がするという出来事が存在します。

イエス様は黙々とその道を通り過ぎていきます。

イザヤ書 53 章には

3 彼は軽蔑され、人々に見捨てられ

多くの痛みを負い、病を知っている。

彼はわたしたちに顔を隠し

わたしたちは彼を軽蔑し、無視していた。

4 彼が担ったのはわたしたちの病

彼が負ったのはわたしたちの痛みであったのに

わたしたちは思っていた

神の手にかかり、打たれたから

彼は苦しんでいるのだ、と。

と書かれていて、まさに「軽蔑され、見捨てられ、痛みを担って」十字架へと進んでいきます。

なぜ、そんなあゆみができたのでしょうか。

私たちに、そういう歩みがなぜもたらされるのでしょうか。

パウロは興味深い言葉を書き残しています。

フィリピの信徒への手紙 1 章

29 つまり、あなたがたには、キリストを信じるだけでなく、

キリストのために苦しむことも、恵みとして与えられているのです。

パウロは、私たちの苦難も「神からの恵み」として与えられているのだと教えます。

つまり、理不尽から理不尽への道を歩む時でも、神様は決して見捨てているわけではないというのです。それどころか「その理不尽な苦難」は神様が恵みとしてあたえてくださっている出来事なのだと言っています。

苦難も「恵み」だと信じることは簡単ではありません。でも、人間の努力で、いかんともしがたい出来事があることがわかると、この苦しみの中にでも「恵みの神」の御手があることこそが大きな慰めとなり、励ましとなります。

苦難の中でも「恵み」が見えたら、そこに励ましを味わうことができます。その苦難は「イエス様が通過された苦難」によって担われたことでこそ恵みとして受け止めることができます。

マタイによる福音書 11 章

28 疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう。29 わたしは柔和で謙遜な者だから、わたしの軛を負い、わたしに学びなさい。そうすれば、あなたがたは安らぎを得られる。30 わたしの軛は負いやすく、わたしの荷は軽いからである。」

イエス様が通過された「理不尽」は実は私たちの理不尽そのものでした。そしてだからこそ、恵みとして受け止めることができるのです。

* * *

MACF 礼拝映像はこちらです。

<https://youtu.be/kV5aFkijrhw>